

|                           |                           |  |
|---------------------------|---------------------------|--|
| <h1>そだて</h1> <p>第284号</p> | <p>小千谷市<br/>青少年育成センター</p> | <p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号<br/>Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750<br/>相談専用電話 0258-82-6771<br/>e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp<br/>URL <a href="http://www.city.ojiya.niigata.jp/">http://www.city.ojiya.niigata.jp/</a></p> |
|---------------------------|---------------------------|--|

## 未来を託す子供たちのために

小千谷警察署長 湯澤 正樹

“ヤングケアラー”、新年度になり新聞で目にする機会が増えました。

“ヤングケアラー”とは、大人が担うべき責任を引き受け、病気や障害などでケアが必要な家族の世話をする18歳未満の子供のことをいうようです。親や兄弟などの世話のために、成長に必要な時間の多くを費やし、また、そうした現状を誰にも相談できずに孤立を深めているおそれがあるのが“ヤングケアラー”です。こうしたヤングケアラーへの支援の必要性に光が当たるようになり、国や県は、制度整備や実態調査などを行う方針ということです。

今年29歳になる私の長女が大学時代にやっていたアルバイト先の居酒屋に、同僚で18歳の少女がいました。少女は年上の長女のことを慕ってくれたようで、アルバイトを離れても一緒に食事やお茶をするような仲でした。

少女は、母一人子一人の母子家庭。母親は精神疾患で入退院を繰り返していました。高校2年生になるとき少女は、母親の治療費と生活費のために高校中退を選択したとのことでした。そんな少女が長女に言った忘れられない言葉があります。「先輩は家に帰ると“温かいお味噌汁”が待っているんだよね」このことを長女から聞いた妻は「何か力になってやれないものか」と、利用できそうな制度を長女に伝えましたが、長女から「〇〇は誰かに力を借りたいとか、助けてほしいとかで私に話しているわけじゃないの!」と、すごい剣幕で言われショックを受けていました。

長女は、大学卒業と同時にアルバイトを辞めて社会人となり、次第に少女とは疎遠になっていきました。暫くすると少女はアルバイトを辞め、県外の温泉旅館で仲居を始めたとのことでした。長女に届いた少女の音信は、これが最後でした。この時の少女の様子はとても明るく元気だったと、長女は安心していました。あれから6年。今でも少女は明るく暮らしているものと信じています。

令和2年版警察白書では、刑法犯少年の検挙人員は16年連続で減少する一方、同年齢層の人口1,000人当たりの検挙人員は少年が成人を上回る状況が続いていると伝えています。こうした情勢を踏まえて警察は、関係機関や団体の皆さまと連携しながら少年相談、街頭補導、立ち直り支援など非行防止に向けた活動を推進しております。一方、地域の皆さまからは、子供たちを犯罪などから守るために、通学路などにおける見守り活動にご尽力をいただいているところです。さらに、近頃では、子供食堂やボランティア学習塾など様々な方向から子供たちに支援の手が差し伸べられるようになってきました。

ある新聞の投書欄に、保育園の年長になったダウン症の息子さんをもつお母さんの思いが綴られていました。保育園最後の運動会で、周りのお友達は息子さんに手を差し伸べて寄り添い、息子さんは、その差し伸べられた友達の手を安心して握っていたそうです。その様子を目にしたお母さんは「優しい力の多くの支えに感謝の気持ちでいっぱいです」と書いておりました。

子供たちの健全育成のために今、私がやるべきは、職務上の使命を全うすることです。しかし、なんの見返りも期待せずに友達を支えようと手を差し伸べることのできる園児たちの純粋な心は、いつになっても持ち続けたいと思っています。未来を託す子供たちの成長を支える力であるために。

## 環境浄化パトロールを実施して

小千谷市教育委員会生涯学習課

課長補佐 近藤茂子

7月2日（金）午後1時から、青少年育成センター相談員と青少年の問題行動の有無や防犯上の危険箇所などの確認のため、市内の商業施設やJR小千谷駅周辺等を中心に巡回パトロールを行いました。

商業施設では、総じて子ども達の目立った問題行動の指摘はありませんでした。しかしある店舗では先月、中学生の万引きが1件あったとの報告がありました。見つからなければ大丈夫と軽く考え行ってしまったことかもしれませんが、万引きは「窃盗」という重大な犯罪行為です。万引きを「しない」ことはもちろんですが、地域で万引きを「許さない」機運を醸成することも大切だと思いました。

小千谷駅では駅員の方からお話を伺うことができました。近頃は駅前階段での座り込みもなく、問題行動もないとのことでした。少し気になることとして、高校生の電車への駆け込み乗車が増えているとのことでした。大きな事故に繋がらないためにも、時間に余裕を持った行動に心掛けてほしいと思いました。



**7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です  
青少年を非行・犯罪・被害から守りましょう！**

子ども達を非行や犯罪から守るには家族や地域の協力が必要です  
子ども達が健やかに成長できる環境づくりに努めていきましょう

☆～「愛の一声」～☆

街頭声かけ活動での委員さんの感想を一部抜粋してご紹介します。

- ・こちらから声をかけると、返事もきちんと返してくれました。
- ・地域の子供たちの様子を知るととても良い活動だと思いました。
- ・公園で遊んでいる親子に「こんにちは」と声をかけましたが、少し怪しまれている感があり、難しいなと思いました。
- ・日曜日だったので、家族での行動が多く、子供単独での行動は見られなかった。
- ・外で会う人数は少なかったですが、地域の様子が伺えたことと、挨拶した人が元気に返してくださったので良かったです。



<青少年育成センターより>

令和3年度の街頭声かけ活動がスタートしました。市内を巡回していただく補導委員の皆さん、ありがとうございます。今年度も皆さんの活動で小千谷の子ども達が安心して生活できる環境を整えていけるよう、よろしく願いいたします。

新しい補導委員さんも積極的に声をかけていただけますよう合せてお願いいたします。